



校長室だより No. 2 (令和3年7月2日)

一人1台端末による新しい取組

先日、6月20日(日)に県公報テレビ番組「おはようこうち」(高知放送 7:00~)で、『デジタル技術を活用した「学校の新しい学習スタイル」の構築』として、県内の小中学校、高等学校の取組とともに、高知若草特別支援学校のICTを活用した学習の取組の放送がありました。そこでは、画面上を数秒間見つめるだけで、マウスをクリックすることと同じ機能が実行できる視線入力装置を用いた学習や、同時双方向のWeb会議システムを活用して、県内外の学校とのスポーツ交流を行っている様子が紹介されました。今後も、若草3校では、ICT機器を活用した取組を推進し、本校と分校の授業や行事をWeb会議システムでつなぐなど積極的に活用していきたいと思っております。

また、今年度は、GIGAスクール構想により若草3校においても小中学部で1人1台端末の整備が行われることとなりました。高等部についても、本年度内には1人1台端末が整備される予定です。

そこで、「まずはこのツールを先生方自身が学び、使えるようになること」が大切になってきます。高知若草特別支援学校では、県教育委員会の研修会への参加やGIGAスクールアドバイザーの派遣も活用しながら、Google協働学習ツール Google Workspace for Education を活用できるように教員の研修を行い、実際の会議や研修の場で、教員の活用をスタートしたところです。そして、児童生徒の皆さんも、1人1台の端末を使った学習にも取り組みはじめたところです。まだ、1人1台端末を活用した児童生徒の取組は、スタートして間もない状況ですが、現在の本校、分校の取組を紹介します。



Kojika chromebook 教室 (子鹿園分校)

中学部では、総合的な学習の時間で「Kojika chromebook 教室」を行っています。使い方のガイドラインについての確認とログインから学習をはじめ、活用できるようになるためのプログラムに沿って学習をすすめています。生徒も熱心に取り組んでいます



できることを増やそう (土佐希望の家分校)

休み時間に、iPadを活用して音楽やゲームを楽しんでいます。最近では、自分から、国語や数学のアプリを休み時間に使っている生徒もいます。1人1台端末のクロームブックの活用はこれからです。

また、家庭と学校をWebでつないで、学校の生徒と訪問生が一緒に学ぶ学習にもチャレンジしました。



Google 協働学習ツールを使った取組 (本校)

高等部の総合的な探究の時間にJamboardで出た意見



高等部の総合的な探究の時間には、Chromebookを活用して学習しています。先日、Jamboardの付箋機能を活用して「寄宿舍での生活」をテーマに話し合いを行いました。通学生から、「寄宿舍にはゲーム機や携帯電話を持ち込む事ができますか?」という質問で普段は、「はい、いいえ」で回答することが多い生徒(寄宿舍生)がJamboard(付箋機能)を使った学習では、自ら文章で答えることを選択して、「許可をとったら自分のゲーム機やiPadを持ち込める」と付箋に記入し、瞬時に全員に伝えることができました。友達も自分たちの知らなかった情報を教えてもらったことが嬉しかったようで、その場がとても盛り上がりました。今後も、生徒同士のより豊かなコミュニケーションを目指し、ツールを効果的に活用して、生徒の力を引き出したいと考えています。

※ 寄宿舍での生活をテーマにクラスで意見や質問を付箋機能で共有